

4月の和名「卯月(うづき)」は、
卯の花が咲く季節なので、「卯の花月」を縮めたものといわれています。

卯月の「う」は「初」「産」を意味する「う」で、一年の循環の最初を意味しており、新しい何かが動き出す躍動の月でもあります。

私どもは、いつも通りの介護を繰り返すだけでなく、ユニット生活充実のために、常に新たな取り組みをちりばめてまいります。

喜楽会

あじさい

— 家族の絆 —

4月号 No. 068

〈発行日〉 2018年4月1日

〈発行所〉 よもぎの里 愛の丘

〈編集者〉 広報委員会



4月8日はお釈迦様が生まれた日【灌仏会／花まつり】です。

卯の花（別名：ウツギ）

春のお彼岸期間の 3月22日（木）物故者慰霊祭を執り行いました

社会福祉法人喜楽会が組織する5事業所のご利用者様のうち、昨年1月から12月までの1年間にお亡くなりになられた方々の合同慰霊祭です。今年で38年目を迎えました。

ご利用者様54名にご参加いただき、喜楽会の吉川理事長をはじめ物故者親族や来賓の方々、職員を含め合計102名が参列しました。



相模原養護学校の生徒さん達との交流会 3月7日(水)



年に4回、当施設から徒歩10分程にある相模原養護学校の生徒さんが訪ねて来ます。入居されている皆さんと一緒に風船バレーや百人一首(今回は坊主めくりもありました)に興じ、生徒さん達の用意したパフォーマンスに興じる等で楽しく交流しました。



合同レクリエーション

3月18日(木)

毎月、各ユニットの希望者が集まり、懐かしの歌を唄ったり、クイズや体操をしておやつを食べてから解散するというイベントです。次第に参加者が増え、今回は38名が参加し賑やかなひと時を過ごしました。



視力に障害をお持ちの方々の日常を支える

●私の勤務しているユニットでは、主に視覚障害の方々が生活をされています。高齢視覚障害は視覚障害に加え、体の状態も悪く様々な病氣も抱えてられています。また個々の生活歴・趣味・趣向・病歴等により様々なタイプに分かれています。

入居者の支援は十人十色であり、個別にケアを実践していく事を大切にしていきたいと考えています。

皐月ユニットにおいて一番大切にしている事は入居者の方々の生活上の不便や不安な気持ちに理解を深め、人格を尊重し、相手の立場に立ち、笑顔で穏やかな暮らしを送って頂けるように支援していく事だと考えます。また、研修等で一番最初に学ぶ「声には表情がある」という事です。日常のケアでは声かけの重要性について職員間で共有しています。声かけと言っても「声の音量」「スピード」「トーン」によって入居者に与える印象が全く違ってしまいうため、声かけの際は、わかりやすく、繰り返し、丁寧に相手が相手の意思を確認し、信頼感のもてるケアを心がけます。

出勤した際は、まず相手の名前を呼び、「介護者の〇〇です。」と自分の名前を名乗ってからケアに入ります。このとき、軽く手に触れることも安心感につながります。

特に入居者にとって「食事」は大きな意味を持ち、最も楽しい時間です。ですから食事の際には献立・配置をわかり易くお伝えし、安心感を与え、食事を美味しく味わって頂けるようにお声がけ・介助に努める事が大切です。説明はイメージがつかめるよう、できるだけ具体的な言葉で表現し、場合によっては実際に触ってもらうことで理解してもらいます。

これからも私たちは入居者の日々の生活の中での表情や言動を注意深く観察し、傾聴し、入居者の立場になって、思いを理解し、敬う気持ちを忘れず、信頼関係を構築して行けるようにユニット職員で話し合いながらチームワークで支援して行きたいと思えます。

ユニット 皐月リーダー北浦 健司

4月行事のお知らせ

4月 8日(日) カラオケクラブ

4月10日(火) 書道クラブ

4月21日(土) 和歌声一座

4月22日(日) 合同レクリエーション

このほか、各ユニットでは、お誕生日会をはじめとして趣向を凝らしたユニット独自の行事により、よもぎの里愛の丘の皆様楽しく過ごしていただくための催しを用意しています。

編集後記

新たな年度がはじまりました。これに合わせて「あじさい」の紙面もほんの少しだけリニューアルさせていただきました。

これからもご利用者様の日常をお伝えしていく方針には変わりはありません。ご期待ください。

広報委員会



平成30年4月号担当

吉川施設長
村上課長・北浦
坂口・堀内

お問い合わせ

042-778-7211